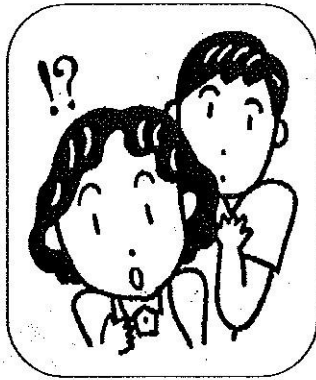


セシウム汚染肉牛・192頭が 西宮市食肉センター（西宮浜）で解体処理

解体時の処理水は…



放射性物質のセシウムに汚染された肉が相次いで見つかり、全国的に流通している問題で西宮市保健所が調査中。福島県浅川町産の四十二頭のうち四頭の一部、あるいは全部が市内に流通していました。そのうち市内食肉卸売会社で保管中の約270kgから基準値を超えるセシウムが検出され、現在出荷停止となっています。

また、市内の食肉卸売業者が福島県須賀川市の農家から汚染牛を一九二頭仕入れ、すべて西宮浜の西宮市食肉センターで解体処理、一八府県一〇〇超の自治体に流通していた問題では、引き続き保健所で「肉の行先」を調査中です。

全頭の解体処理を行った西宮市食肉センターでは、大量の水を使用。流れ出たセシウムは、下水処理場で他の物質とともに汚泥となり、他の施設で焼却。その際、汚泥からはセシウムの検出は特に見られなかったということです。

市内の保育所や学校の給食は？

セシウム汚染の牛肉が西宮でも流通・・・との報道のあと、市の保健所には子どもを連れてお母さん達が多数問い合わせに。

「学校の給食では、そのような疑いのある肉は使わないで」という声です。現在市の保育所や小・中学校給食には、北海道産の牛肉をのこした。海産物とで当に、本心配ね。



放射能汚染は大丈夫？

日本共産党

上田さち子です



2011.7.31号

(発行)

日本共産党市会議員
上田さち子
川添町五・十八
電・三五―二八一三

私のブログ「上田さち子とコーヒータイム」を更新中です。
ぜひ、訪問して下さい。お待ちしております。

戦争美化を押しつける「教科書」は、西宮では選定されませんでした

今年は教科書選定の年。西宮市は7月の教育委員会議で決定されました。

「新しい歴史教科書をつくる会」など右派勢力は、アジア太平洋戦争は正しい戦争だったと、歴史を歪曲する内容の育鵬社・自由社の教科書を選定せよと、西宮でも動きを強めていました。

女性団体などによる歴史の事実を、きちんと子どもたちに伝えようという運動も広がる中、育鵬社・自由社の教科書は選定から外れました。



冴えない顔の菅首相

菅直人首相が「脱・原発依存」を記者会見で発表したと思っただら、あつという間に「個人的な見解」と朝令暮改。この首相が、「世界最高水準の安全性をもった原子力開

原発の安全基準は実証実験ができません！

発をすすめる」「しっかりと安全基準をつくる」などと発言しています。

安全な原発などあり得ない

どんな技術でも「安全基準」が客観性をもっているかどうかは、実証実験、実践を通じて試されるもの。飛行機にしても自動車にしても「安全基準」は、実験や実際に使ってみることで確かめられます。

原発はどうか？どんな素晴らしい「安全基準」をつくっても、大量の放射性物質の放

保育所の面積基準の切り下げは、ダメ！

厚生労働省が、西宮市など35都市を「待機児童が多く、地価が高い地域」として、保育所の基準面積を「現行より狭めてよし」とする方針を出しました。今でも弾力化で定員以上の子どもを受入れいっぱいなのに、これ以上の詰め込みは許せません。



出という危険を伴う「実験」は不可能だということには、誰にもわかることではないでしょう。安全な原発などあり得ないのです。